

君輝く
色

十人十色

第11回



北野 颯太 選手 2004年8月13日生 (21)

- ・有田市宮崎町出身のプロサッカー選手
ポジションはFW
- ・幼少期から地元田鶴JFCでサッカーを始め、小学校4年生からはアルテリーヴォ湯浅でプレー
- ・中学生からセレッソ大阪U-15 (ジュニアユース) に加入し、U-18を経てトップチームへ
- ・2020年にセレッソ大阪U-23でJリーグ公式戦デビュー、その後2022年にJ1デビュー
- ・2025年6月、FCレッドブル・ザルツブルク (オーストリア) へ完全移籍
- ・2025年11月14日、キリンチャレンジカップ 2025ガーナ戦で日本代表デビューを飾る

有田の誇りが、世界へ！

かつて有田市スポーツ賞を受賞した北野颯太選手。
ふるさとで積み重ねた努力は海外で磨かれ、日本代表の舞台へとつながっています。
北野選手の“いま”をお届けします。

憧れない、超えるために

令和7年11月、北野選手は初めて日本代表に選出されました。代表に集うのは、国内外の高いレベルで戦う選手ばかりです。それでも北野選手は、こう言い切ります。

「憧れの気持ちで見つめてしまつと、超えられない。仲間でありながら、ライバルとして向き合う意識をもっています。静かな言葉の奥に、熱い闘志があります。」

代表入りの知らせは、突然に

北野選手はオーストリアの名門「ザルツブルク」でプレーしています。代表選出の連絡が届いたのは、公式発表の2日前、突然の電話でした。
「えっ、ほんまっすか？」って。びっくりしました。ドキドキもあつたけど、それも含めて楽しみで。ワクワクの方が大きかったです。



大舞台を前にしても、心が向いていたのは「怖さ」ではなく「挑戦」でした。

けがと不調、それでも前へ

令和6年夏、膝の大きなけが。復帰後も不調が続き、試合から遠ざかる時期もありました。

「自分がここにいる意味は何だろうって悩みました。」

それでも北野選手は立ち止まらず、環境を変え、自分を鍛え直す決断をしました。

転機は、オランダでの2週間

転機となったのは、オランダでの2週間の短期留学でした。言葉も文化も違う場所で、孤独と向き合いながらも、確かな手応えをつかみます。

「あの経験が今の自分にとって大きな財産です。」

苦しい状況でチームに貢献できた経験が自信になりました。越えてきた時間があるからこそ、言葉にもプレーにも強さが宿ります。

目標は、中心選手になること

目標はワールドカップの代表メンバー入り。そして、中心選手になることです。



「目の前の一戦一戦に集中して結果を積み上げていきたい。」

「入る」だけで終わらない。「任される」存在になる。その覚悟が、北野選手の歩みをこれからも支えていくはずです。

有田市は、「戻れる場所」

北野選手を支えるのは、家族や友人の存在。そして、ふるさと有田市だといえます。

「生まれ育った有田市が大好き。自然が豊かで、人があたたかい。帰ってくると安心できて、素の自分に戻れる場所です。」

世界で戦う北野選手が有田市を「戻れる場所」と語る。それは私たちにあって、大きな誇りです。



北野選手より、日本代表デビュー戦のユニフォームを寄贈いただきました。2階ロビーにて展示中。

有田で過ごした日々を胸に、北野颯太選手はいま世界で挑み続けています。その姿は、このまちで暮らす私たちに誇りと元気を届けてくれます。有田から北野選手へ、これからも声援を届けていきましょう。

こどもたちへ。声援は届いている

最後に、有田市のこどもたちへ。

「のびのびスポーツができる環境を大切に、ぜひ毎日ボールに触れてください。そしていつか一緒にプレーしましょう。」

そして、応援してくれる皆さんへ。
「声援は僕のところまで届いていて、力ももっています。もっと応援される選手になれるよう頑張ります。」